

# 市民文芸

## 短歌

阿南市文化祭短歌大会選

佳作 程野 茂

駅の壁短歌俳句の貼られありやさしく風の吹きぬけてゆく

佳作 佐々木夫美

わが耳朶に今も残れり知覧にてここに響く語り部の声

佳作 西田 修身

歙ふればころころと転げ出るジャガイモ畑のまほろば

佳作 西崎まき子

先見えぬ農にも負けずコンバイン初飲み藁を吐きつつ進む

佳作 荒瀬左知子

逝く夏を惜しむが如く夜の空華やかに咲く花火の終宴

佳作 神原 常経

眞子さまの笑み爽やかな今朝の秋珈琲の香の馥郁と起つ

佳作 棚野 久子

露に濡れ色際立てる朝顔の濃き阿波藍よ五輪の空へ

佳作 木内 照代

物干し竿に空気ぬかれし浮き袋干さるるの見え夏逝かんとす

佳作 吉永賀代子

病院の並列椅子に待ちおれば集団基地のごとき静けさ

## 俳句

阿南市俳句連合会選

山里に心地ほのかに梅香る

町田 哲子

早咲きも華麗に開け君子蘭

鎌矢美代女

老深し五感ゆさぶる大寒波

山野 賢治

神鈴のひびき余寒の大社

石井 政子

春近し鯉の吐きだす夢ひとつ

松田 桜子

寒明けて腰痛軀外あるき

田中 織女

探梅や机も椅子も石造り

富永 恵女

霜柱跳んで踏めども音の無し

庄野 早苗

ゴツゴツと梅の古木や風の音

鈴木 順子

寒風の橋駆け抜ける部活の子

田中 栄子

## 川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

サクサクと落ち葉踏みしめダンスする

佐藤つたえ

シンプルな愛の言葉が胸を打つ

佐野 智子

老いらくの恋はなかなか発火せず

滝川 太郎

高齡の免許更新無事通過  
抱き癖がつくと言いつつまた抱っこ  
若者のスマホに老いがかきこまる  
一般応募  
ゆつくりと母の仕種に似て老いる  
笑う君桜吹雪をひとり占め  
受けた恩忘れぬうちにお接待  
ランチタイム喋り足りない一時間  
島尾美津子  
仁井 信子  
吉田 當代  
武田 敏子

## 漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

### 古寺春色

谷口田鶴子

夜櫻爛漫落花輕  
朧月冷然煙靄生  
問歩春宵塵外境  
寺庭老樹惹詩情  
夜櫻 爛漫 落花輕し  
朧月冷然として 煙靄生ず  
問歩す春宵 塵外の境  
寺庭の老樹 詩情を惹く

### 雜祭偶感

大地 和子

寒暖入春花満瓶  
重三又值雛人形  
愛君廿歲他郷學  
托夢私祈康與寧  
寒暖 春に入りて花 瓶に満ち  
重三 又值う 雛人形  
愛す君が廿歲 他郷に学ぶ  
夢を托して私かに祈る 康と寧と

### 津乃峰神社マラソン参詣

高橋 静雄

大社新春参拜馳  
笑聲爽快匹儔隨  
欲祈康健抽籤紙  
吉兆怡怡結細枝  
大社の新春 参拜の馳  
笑声爽快 匹儔隨う  
祈らんと欲す康健 籤紙を抽き  
吉兆 怡怡 細枝に結ぶ

※匹儔…仲間